

2017年3月期 第2四半期 決算説明会

2016年11月29日

日本ロジテム

証券コード: 9060

URL:<http://www.logitem.co.jp>



ベトナム、冷凍冷蔵倉庫事業を開始

2016年7月に冷凍冷蔵倉庫が竣工





本日の内容

1. 2017年3月期 第2四半期決算の実績
2. 2017年3月期 通期の見通し
3. 今後の取り組み



本日の内容

- 1. 2017年3月期 第2四半期決算の実績**
2. 2017年3月期 通期の見通し
3. 今後の取り組み



2017年3月期 第2四半期決算のポイント

〈決算結果〉 営業収益は2.5%の増収、営業利益・経常利益はベトナムの収益が低下したことにより減益（前年同期比）

【増収要因】

1. 前連結会計年度に取引を開始した得意先の収益が寄与
2. 新規得意先の獲得もあり3PL事業が拡大

【減益要因】

ベトナムにおいて燃料価格変動に伴い価格調整を行ったことや、人件費の増加などから利益が減少

〈国内〉 3PL事業が拡大、グループの組織再編を図る

1. 新規得意先の獲得や既存得意先との取引範囲拡大により3PL事業が拡大
2. 前連結会計年度に開設した大型拠点の安定稼働に注力
3. 連結子会社ロジテムエンジニアリングの物流事業統合などグループの組織再編が進捗

〈海外〉 インドシナ半島地域の事業展開が進捗

1. 各進出国の現地通貨に対し為替が円高で推移
2. ベトナムで「CLK COLD STORAGE」社が冷凍冷蔵倉庫事業を開始
3. カンボジアに子会社を設立しインドシナ半島地域のネットワークを拡充



2017年3月期 第2四半期決算の概要

営業収益は2.5%増収、経常利益は期初の予想を上回る

※△は損失 (単位:百万円)

	実績				期初予想 (16年5月16日発表)	
	16/3期上期	17/3期上期	増減額	増減率	17/3期上期	増減額
営業収益	20,848	21,365	+517	2.5%	21,500	-134
営業利益 (同利益率)	133 (0.6%)	44 (0.2%)	-88	-66.7%	50 (0.2%)	-5
経常利益 (同利益率)	117 (0.6%)	43 (0.2%)	-73	-62.8%	10 (0.0%)	+33
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (同利益率)	△35 (-)	△35 (-)	+0	-	△80 (-)	+44
主要為替レート(TTM) VND(ベトナムドン)	1VND=0.00559円 (1円=179VND)	1VND=0.00499円 (1円=200VND)	-0.00060円	-10.7%	1VND=0.00519円 (1円=193VND)	-0.00020円



セグメント別営業収益(事業の種類別)

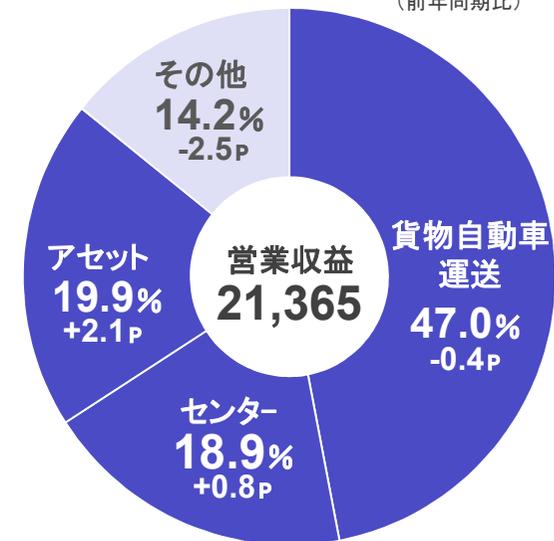
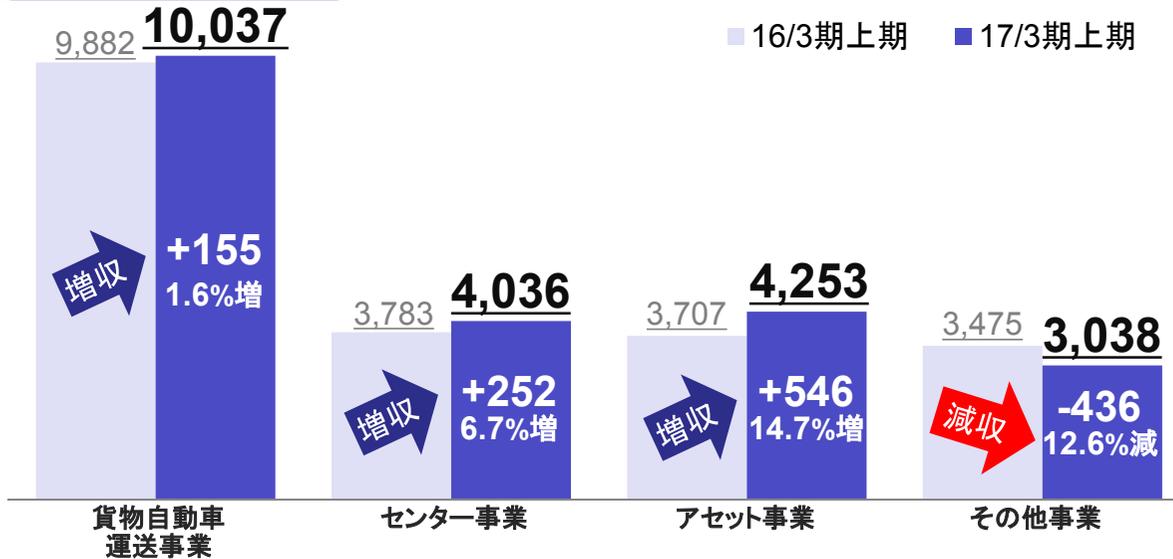
アセット事業が14.7%の増加

事業の種類別

(単位:百万円)

構成比

※Pはシェアの増減ポイント
(前年同期比)



貨物自動車運送事業

トラック等を使用して商品を運送する事業

- ・新たな配送業務の受託による既存得意先の取引拡大
[日本ロジテム]
- ・前期の期中に取引を開始した得意先の収益が寄与
[日本ロジテム]

センター事業

商品の入出庫等の荷役などを行う事業

- ・前期の期中に取引を開始した得意先の収益が寄与
[日本ロジテム]
- ・新規得意先との取引を開始
[LOGITEM VIETNAM NO.2]

アセット事業

商品の倉庫保管、不動産賃貸借を行う事業

- ・新規得意先との取引を開始
[日本ロジテム]
- ・既存得意先の保管面積拡大
[日本ロジテム]
[LOGITEM VIETNAM CORP]
[LOGITEM (THAILAND)]

その他事業

引越、施工、通関、旅客運送などを行う事業

- ・物品販売事業が低調に推移
[L&K TRADING]
- ・旅客自動車運送事業で車両の稼働率が低下
[LOGITEM VIETNAM NO.1]



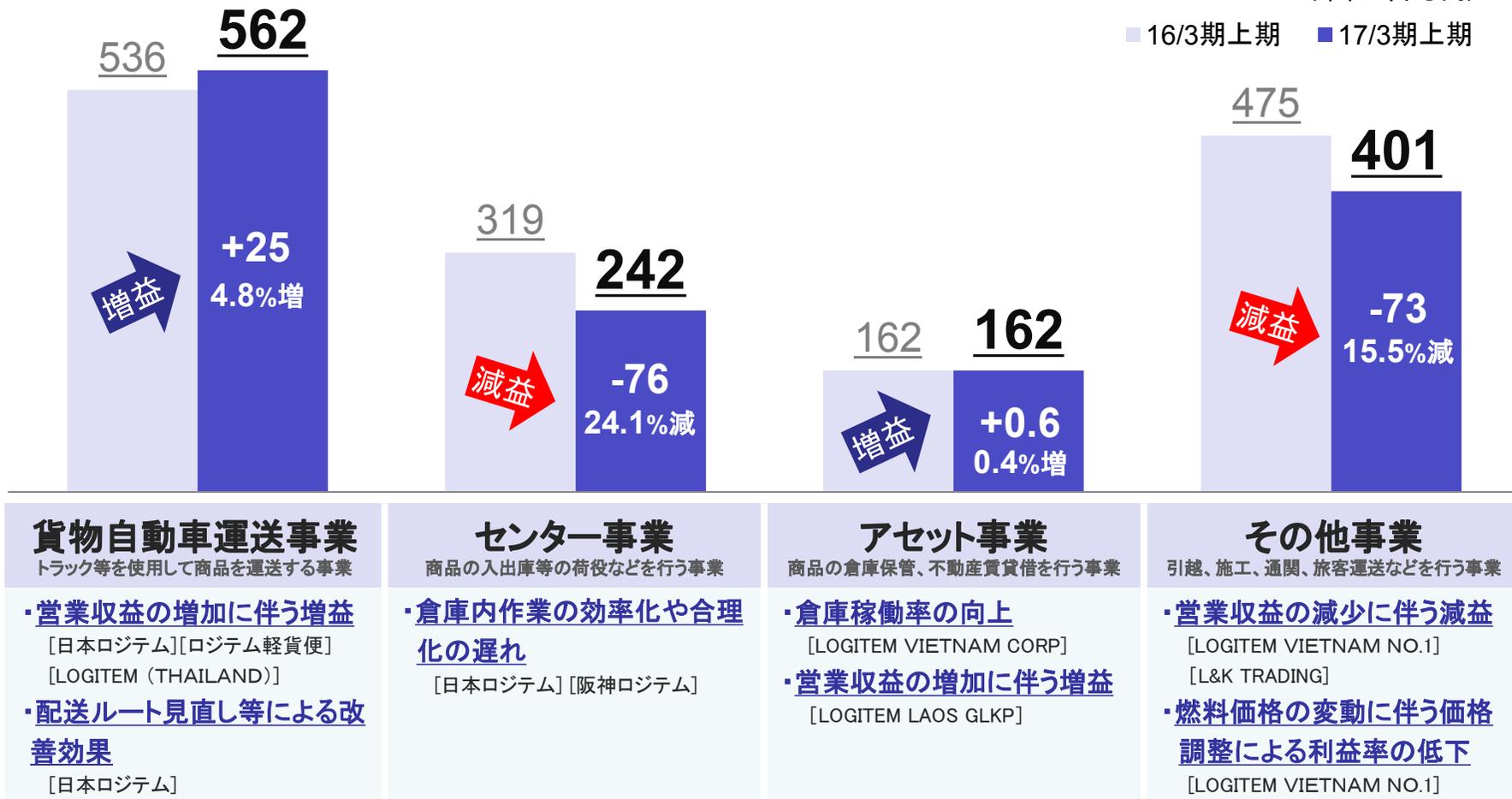
セグメント利益(事業の種類別)

センター事業およびその他事業が減益

セグメント利益

(単位:百万円)

■ 16/3期上期 ■ 17/3期上期





営業収益(所在地別)

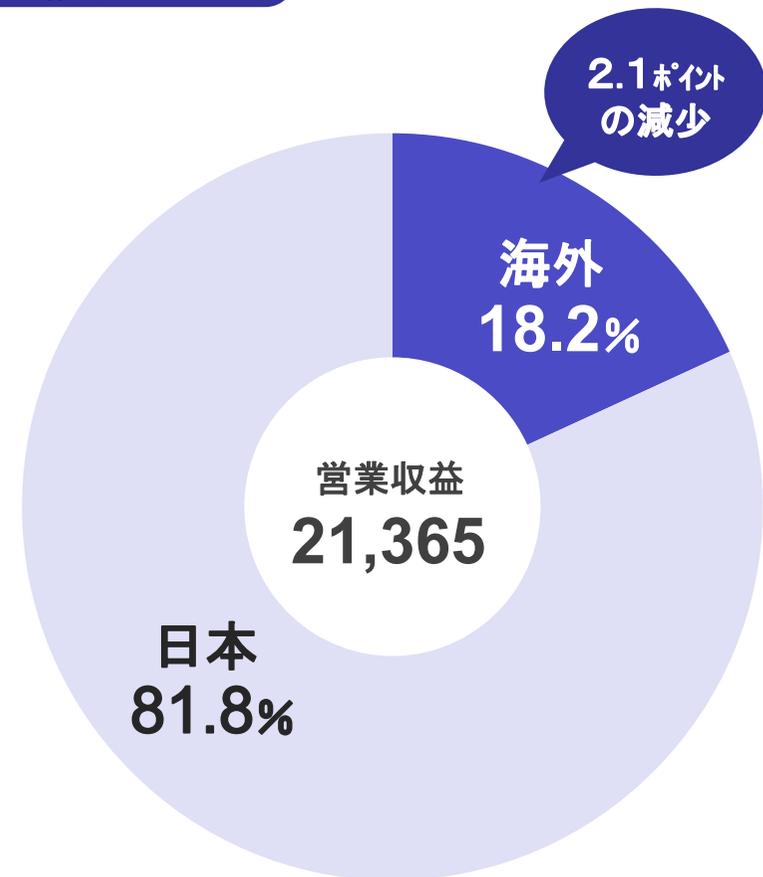
円高の影響もあり、海外の営業収益が8.1%の減少

所在地別

(単位:百万円)

構成比

■ 16/3期上期 ■ 17/3期上期





営業収益(品目別)

インテリアおよび自動車関連の取扱いが増加

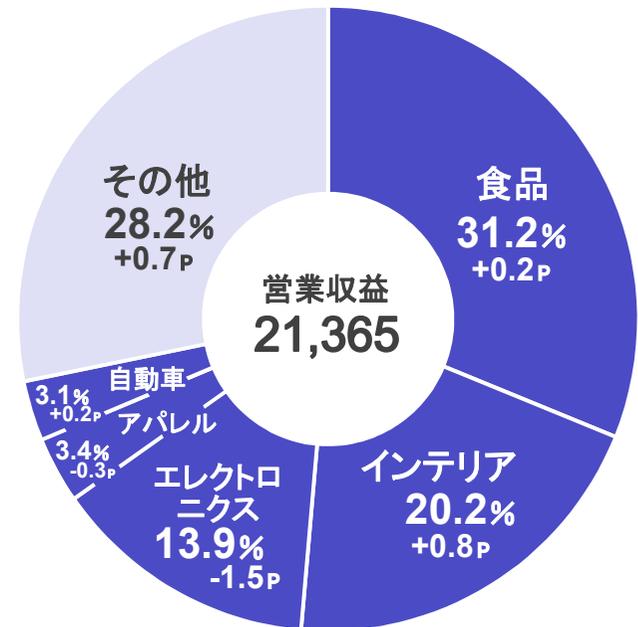
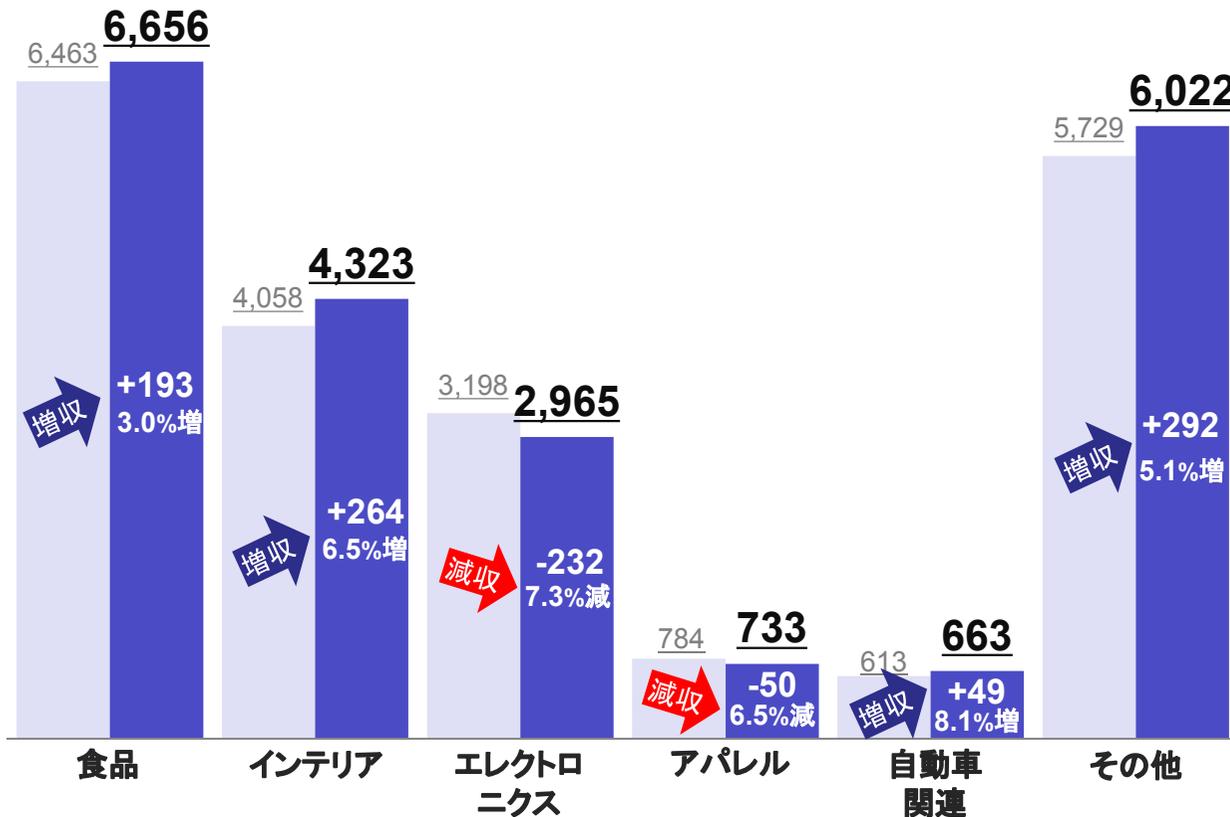
(単位:百万円)

■ 16/3期上期 ■ 17/3期上期

品目別

構成比

※Pはシェアの増減ポイント
(前年同期比)





燃料価格、為替の変動による影響額

燃料価格は低位で推移、為替変動は業績にマイナスの影響

燃料(軽油)価格		16/3期上期	17/3期上期
影響額※1	営業総利益	+1億67百万円	+86百万円
(参考) 平均購入単価	日本 (使用量)	88.2円 (2.1百万ℓ)	74.1円 (2.1百万ℓ)
	ベトナム (使用量)	14,980VND (2.5百万ℓ)	10,449VND (2.3百万ℓ)

※1 軽油平均購入単価の増減×当期使用量

単価下落により
プラスの影響

為替		16/3期上期	17/3期上期
影響額※2	営業収益	+5億64百万円	-4億94百万円
	営業利益	+24百万円	-15百万円
(参考) 為替レート(TTM) ベトナムドン(VND)		1VND=0.00559円 (1円=179VND)	1VND=0.00499円 (1円=200VND)

※2 海外各社の当期実績(現地通貨建て、連結調整後)×当期と前期の為替レート差

円高により
マイナスの影響



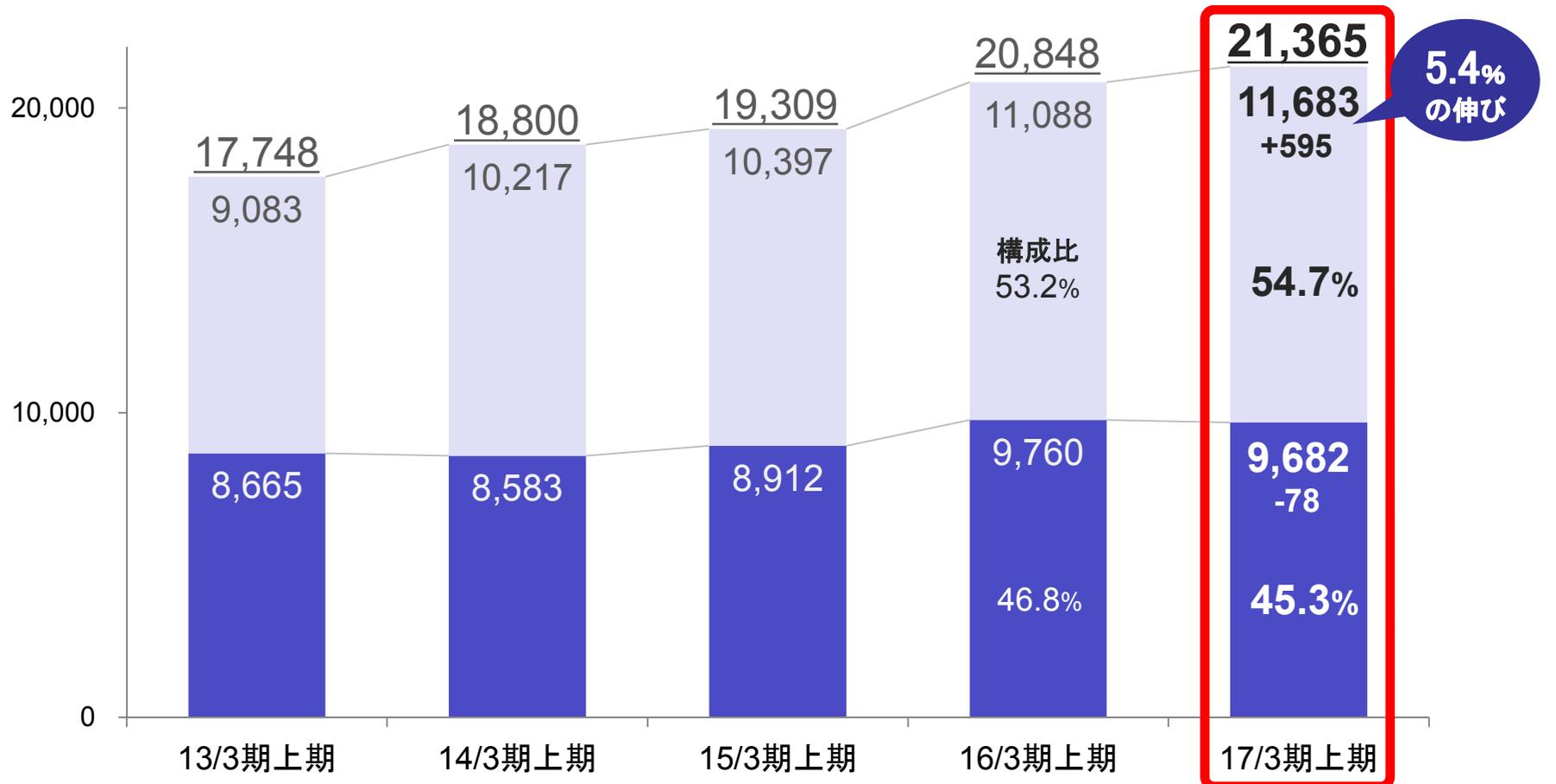
クライアントの状況

その他得意先のシェアが拡大

営業収益

(単位:百万円)

■ 売上上位10社 ■ その他得意先





主な新規得意先の開発実績(国内)

アセット事業を中心に得意先を獲得

取扱品目	インテリア	自動車関連	食品	インテリア	インテリア	食品	その他
取扱貨物	ガラス	自動車部品	食品	輸入家具	雑貨	飲料	通販
取引範囲	貨物自動車 運送事業	—	—	—	—	—	○
	センター事業	○	—	—	○	○	○
	アセット事業	○	○	○	○	○	○
本稼働時期	16年5月	16年6月	16年7月	16年8月	16年9月	16年9月	16年11月
営業拠点	福島県	神奈川県	埼玉県	神奈川県	埼玉県	群馬県	埼玉県他

※2017年3月期に受注した日本ロジテム単体の
新規得意先のうち、主な実績を抜粋



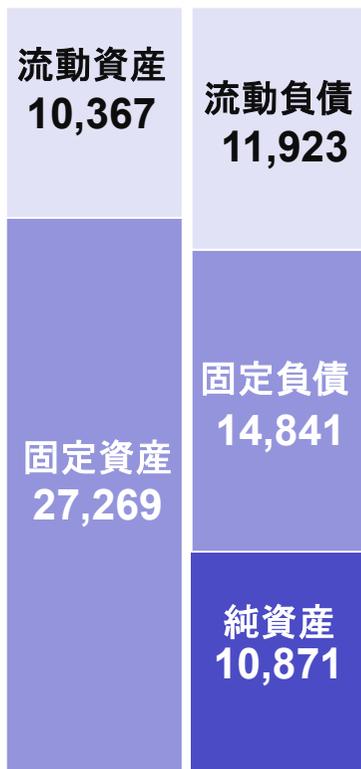
貸借対照表

前連結会計年度末から総資産が減少

貸借対照表

(単位:百万円)

総資産
37,636



16/3期末

36,289 -1,347



17/3期第2四半期末

主な増減要因

流動資産	「受取手形及び営業未収入金」の減少
固定資産	「建物及び建築物」、「機械装置及び運搬具」の減少
流動負債	「支払手形及び営業未払金」の減少
固定負債	「長期借入金」の増加
純資産	「為替換算調整勘定」の減少

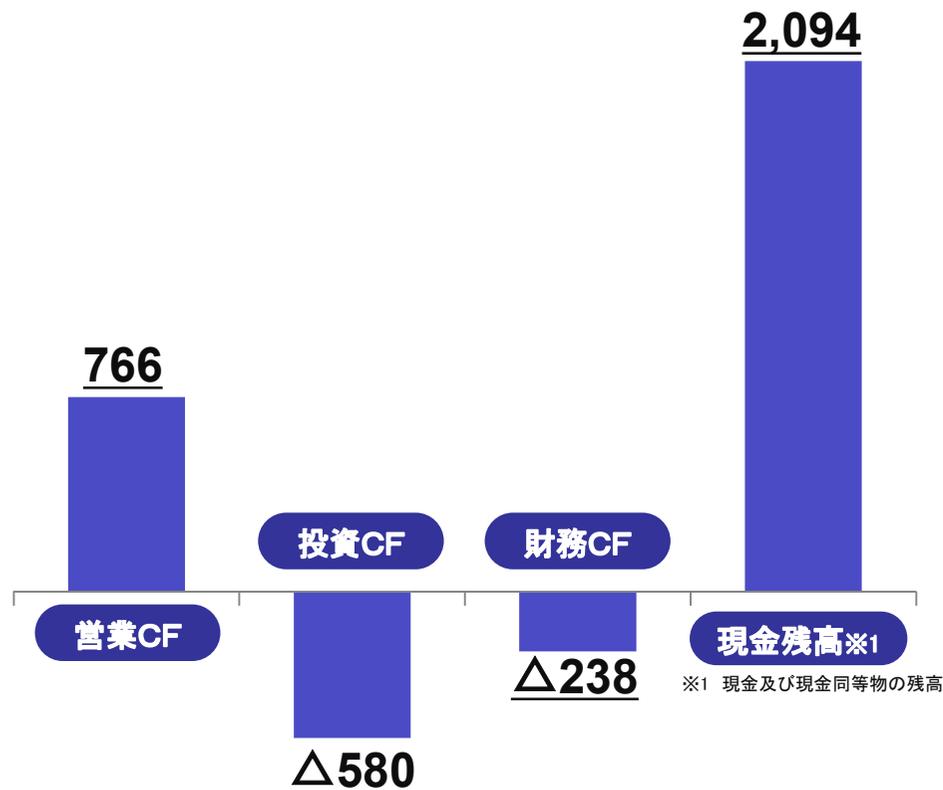


キャッシュ・フロー

ラオス新倉庫建設に伴い投資CFが変動

17/3期上期キャッシュ・フロー

(単位:百万円)



主なキャッシュの増減要因

営業CF 「減価償却費」の増加

投資CF 「有形固定資産の取得」による支出

財務CF 「社債の償還」による支出

(参考)キャッシュ・フロー比較

	16/3期上期	17/3期上期	増減
営業CF	519	766	+247
投資CF	Δ1,373	Δ580	+792
財務CF	721	Δ238	-960
換算差額※2	16	Δ137	-153
現金残高※1	2,545	2,094	-451

※2 現金及び現金同等物に係る換算差額



本日の内容

1. 2017年3月期 第2四半期決算の実績
2. 2017年3月期 通期の見通し
3. 今後の取り組み

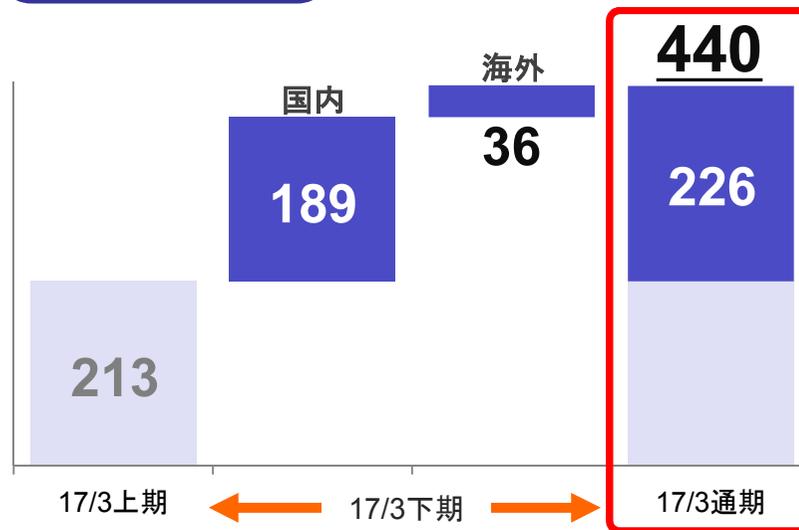


下期の営業収益および営業利益の見通し

国内の伸びを見込む

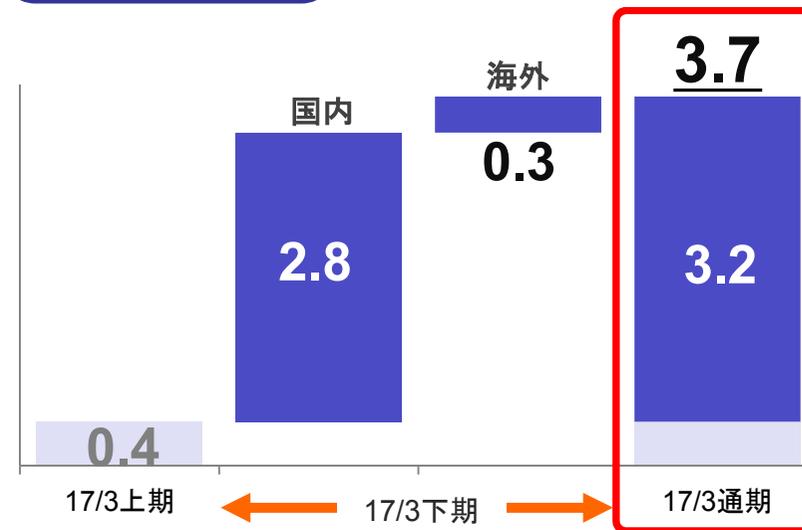
営業収益

(単位:億円)



営業利益

(単位:億円)



国内

- ・前期の期中に取引を開始した得意先収益が寄与
- ・年末および年度末に繁忙期となる得意先の物量増
- ・大型3PL案件など新規得意先の本稼働

海外

- ・円高基調で推移
- ・ベトナムの食品物流拡大
- ・タイの業績が堅調に推移

- ・車両の稼働率向上、配送ルート見直しによる効率化
- ・倉庫稼働率向上、オペレーションの効率化、合理化
- ・低採算な得意先の収益改善

- ・ベトナムのハイヤー事業、物品販売事業が低調
- ・車両の稼働率向上
- ・倉庫オペレーションの効率化、合理化



2017年3月期 下期の見通し

下期は増収、営業利益および経常利益の増益を見込む

(単位:百万円)

	16/3期下期 実績	17/3期下期 計画	増減額	増減率
営業収益	22,305	22,634	+328	1.5%
営業利益 (同利益率)	140 (0.6%)	325 (1.4%)	+184	131.5%
経常利益 (同利益率)	120 (0.5%)	226 (1.0%)	+105	87.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (同利益率)	80 (0.4%)	45 (0.2%)	-35	-44.0%
主要為替レート(TTM) VND(ベトナムドン)	1VND=0.00552円 (1円=181VND)	1VND=0.00476円 (1円=210VND)	-0.00076円	-13.8%



2017年3月期 通期の見通し

期初の予想を据え置き

(単位:百万円)

	16/3期 実績	17/3期 予想	増減額	増減率
営業収益	43,153	44,000	+846	2.0%
営業利益 (同利益率)	273 (0.6%)	370 (0.8%)	+96	35.1%
経常利益 (同利益率)	238 (0.6%)	270 (0.6%)	+31	13.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (同利益率)	45 (0.1%)	10 (0.0%)	-35	-78.0%
1株あたり当期純利益	3.32円	0.73円	-2.59円	-78.0%
配当金	8円	8円	±0円	±0円
主要為替レート(TTM) VND(ベトナムドン)	1VND=0.00552円 (1円=181VND)	1VND=0.00476円 (1円=210VND)	-0.00076円	-13.8%

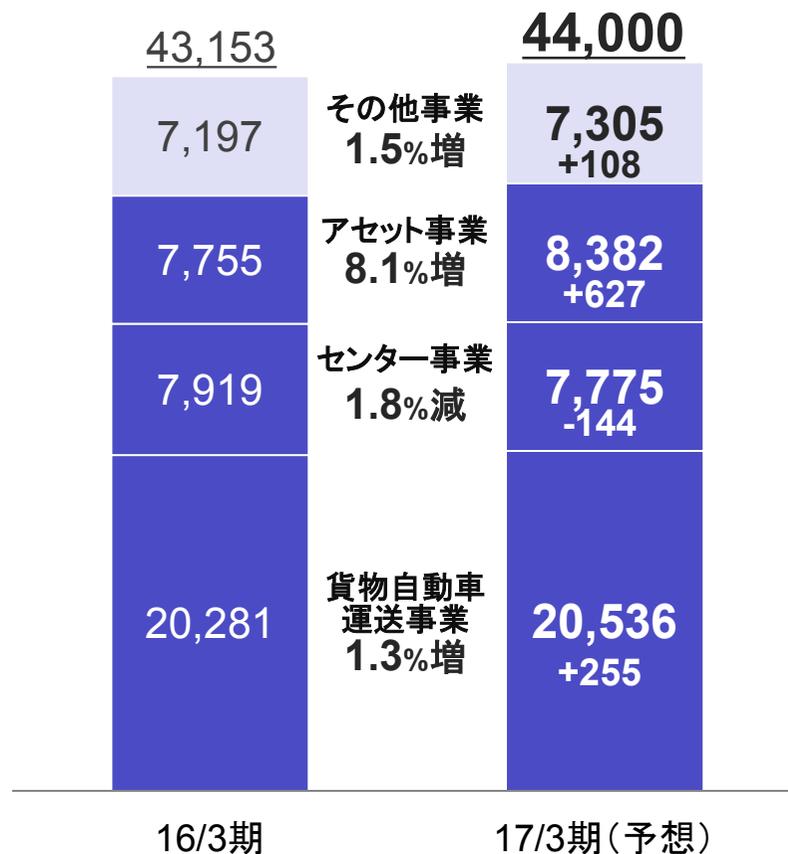


セグメント別営業収益の見通し

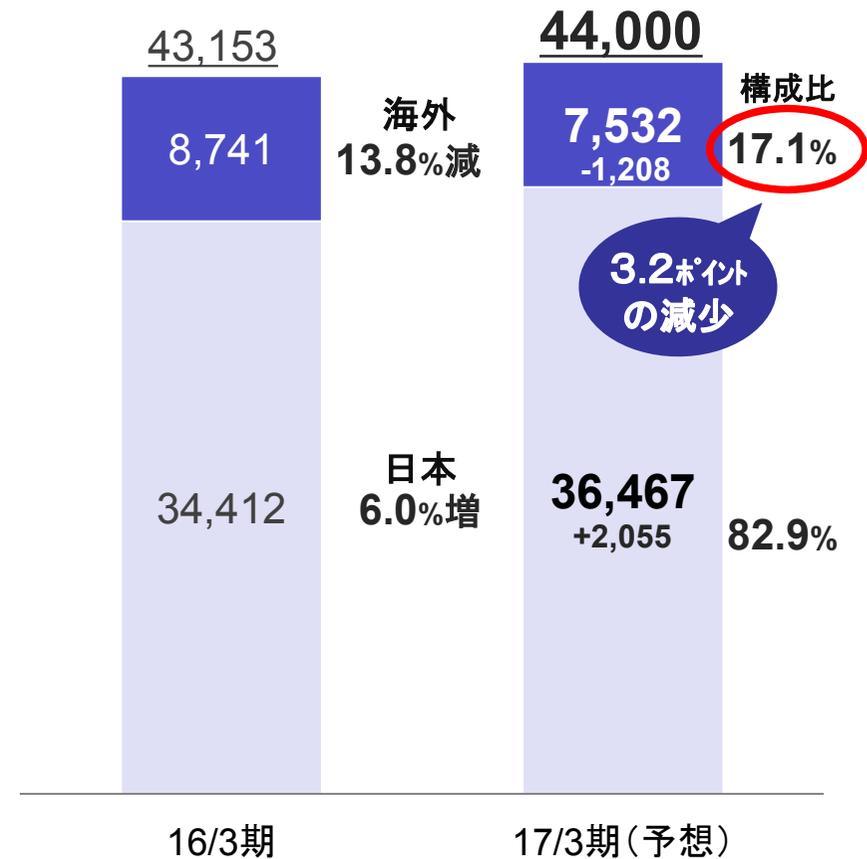
海外は円高もありシェアが落ちる見込み

(単位:百万円)

事業の種類別



所在地別





本日の内容

1. 2017年3月期 第2四半期決算の実績
2. 2017年3月期 通期の見通し
3. 今後の取り組み



当社グループを取り巻く事業環境

国内外ともに厳しい事業環境

国内

- ・人口減少による市場の縮小や個人消費の停滞
- ・消費行動の変化(実店舗から通販による購入へ)
- ・人手不足、ドライバー不足の顕在化
- ・M&Aや資本提携などによる業界の再編
- ・物流ニーズの多様化、高度化
- ・環境、法規制への対応

海外

- ・AEC発足による市場の拡大
- ・日系物流企業の進出
- ・ローカル企業の台頭
- ・消費需要の変化(耐久消費財から非耐久消費財へ)
- ・人件費の増加

競争の
激化

国内成長戦略

3PL事業の拡大

海外成長戦略

**アジア地域の
事業展開の加速**



2016年度の方針

グループ経営方針

利益が出る体質への変革

- グループの**合理化、効率化**の推進
- **スクラップ & ビルド**の推進
- **人材育成**の革新



今後の取り組み

国内

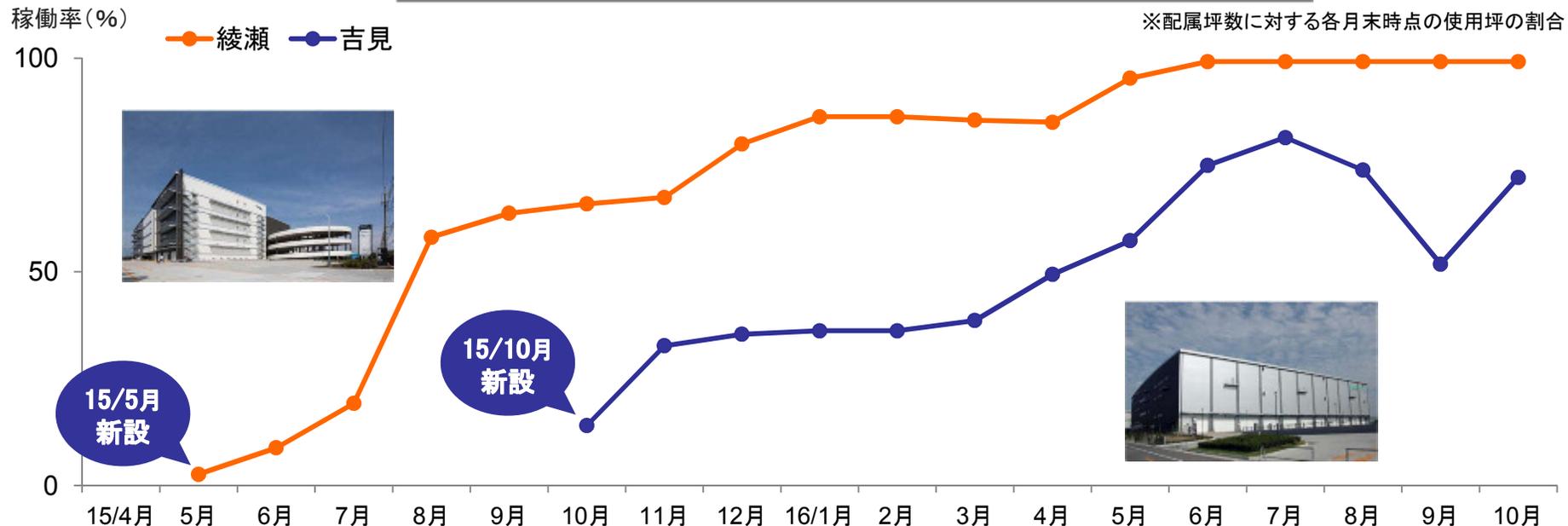
3PL事業の拡大

- ・基盤得意先となることが見込める**新規得意先獲得**と**既存得意先との取引の深耕**
- ・グループ横断的な**拠点体制、配置、業務内容の最適化**
- ・輸送ネットワークの拡大と最適化
- ・新設拠点（綾瀬、吉見、郡山）の安定運営
- ・合理化、効率化による**コスト競争力の強化**
- ・人材育成の強化



新設大型拠点(綾瀬・吉見)の動向

綾瀬営業所は高稼働で推移



日本ロジテム 綾瀬営業所	
所在地	神奈川県綾瀬市小園771
敷地面積	31,699.41㎡(約9,589坪)
延床面積	68,642.64㎡(約20,764坪)
構造	地上5階建、免震PC構造、一部鉄骨造
主要取扱品	インテリア、食品、その他(日用・衛生用品)など

日本ロジテム 吉見営業所	
所在地	埼玉県比企郡吉見町西吉見480
敷地面積	33,913.13㎡(約10,258坪)
延床面積	62,281.32㎡(約18,840坪)
構造	地上4階建、鉄骨造
主要取扱品	食品、エレクトロニクス、その他(通販)など



角谷運送を吸収合併

中部地区での貨物自動車運送事業の効率化を図る



日本ロジテム名古屋営業所

所在地	愛知県名古屋市港区
従業員数	30名
車両台数	21台 ※2016年9月末



角谷運送株式会社

設立	1961年4月
所在地	愛知県半田市
従業員数	21名
車両台数	20台 ※2016年9月末
株主	日本ロジテム(株) 100%

平成28年10月1日
日本ロジテムに
吸収合併





ロジテムエンジニアリング物流部門を統合

グループ全体で事業の最適化を図る

ロジテムエンジニアリング

施工事業

建設事業

物流事業

専門事業に
特化



平成28年7月1日
日本ロジテムに
物流事業を統合

ロジテムエンジニアリング株式会社

設立	2007年4月
所在地	東京都江東区有明
営業品目	・建築工事、内外装工事の施工および請負 ・建設業 ・什器の修理および組立など
従業員数	27名
株主	日本ロジテム(株) 100%

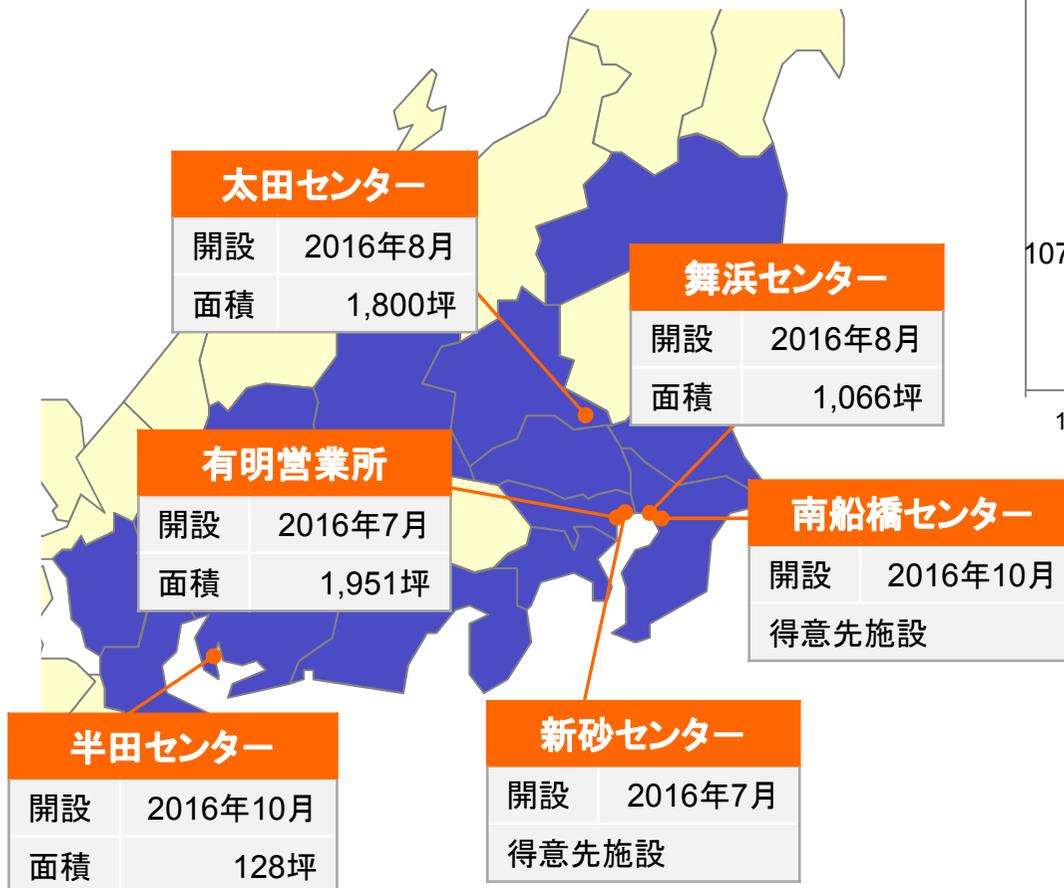
※2016年9月末



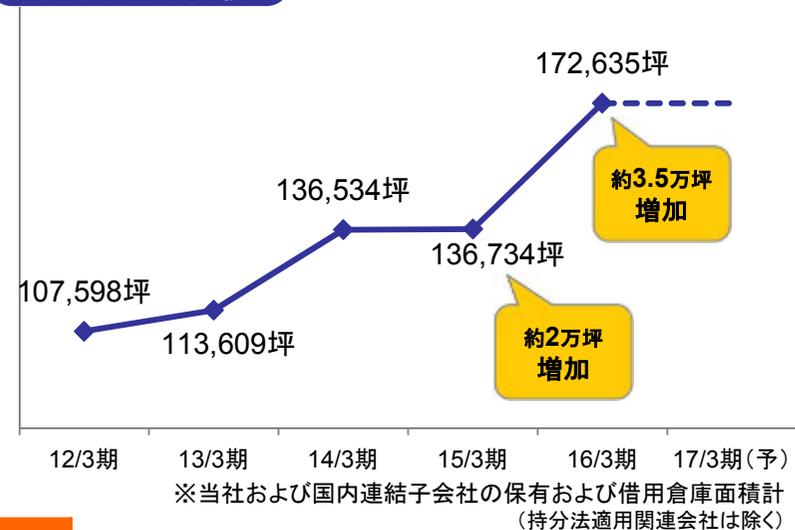
国内の拠点展開

体制・配置・業務内容の最適化を推進

2016年4月以降に新設した拠点



国内の倉庫面積



拠点の新設、変更

16年7月	<ul style="list-style-type: none"> ・有明営業所を新設 ・新砂センターを新設
16年8月	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉営業所を埼玉センターに変更 ・太田センターを新設 ・舞浜センターを新設
16年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・半田センターを新設 ・南船橋センターを新設



福岡ロジテム、九州圏の拠点拡充へ

(持分法適用関連会社)

アイランドシティに2棟目となる拠点を新設

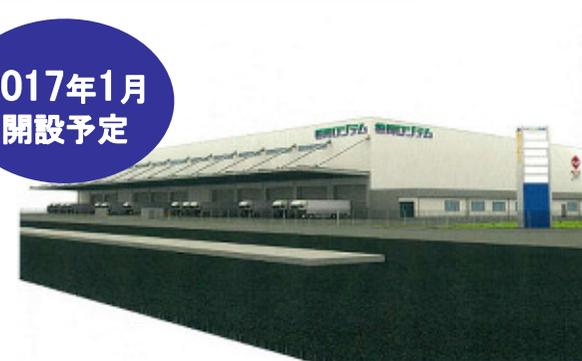
アイランドシティ物流センター

開設	2014年5月
所在地	福岡市東区
延床面積	6,796坪

アイランドシティ 第2物流センター(仮称)

所在地	福岡市東区
延床面積	約5,000坪

2017年1月
開設予定



完成予想パース図



アイランドシティ第2物流センター(仮称) ※建築中

福岡ロジテム株式会社

所在地	福岡県糟屋郡宇美町
資本金	6,000万円
設立	2005年10月
事業内容	貨物利用運送、倉庫保管
従業員	152名(臨時社員・派遣社員含む)
株主	日本ロジテム(株) 50% コバヤシライン(株) 50%

※2016年9月末

●は福岡ロジテム既存拠点



今後の取り組み

海外

アジア地域の事業展開の加速

- ・国内外で営業活動の連携、協調による事業の拡大
- ・冷凍冷蔵分野を含めた**食品物流の取扱い拡大**(ベトナム)
- ・商流を活かした物流業務の開発(ベトナム)
- ・ミャンマーにおける物流事業への着手
- ・**国際陸上輸送網の構築**(ベトナム・タイ・ラオス)
- ・インドシナ半島地域における**各社間の連携強化**
- ・グローバルな人材の確保と現地従業員の業務レベル向上

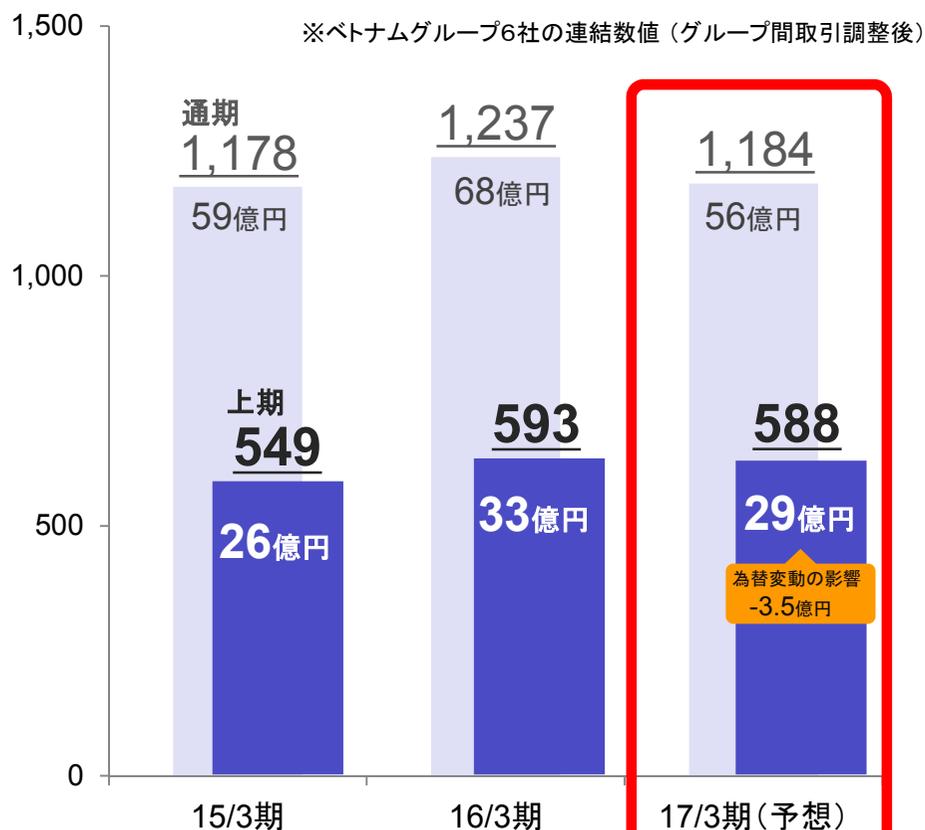


ベトナムグループの業績推移(営業収益)

円高の影響に加え、物品販売事業等が低調に推移

営業収益

(単位:10億VND)

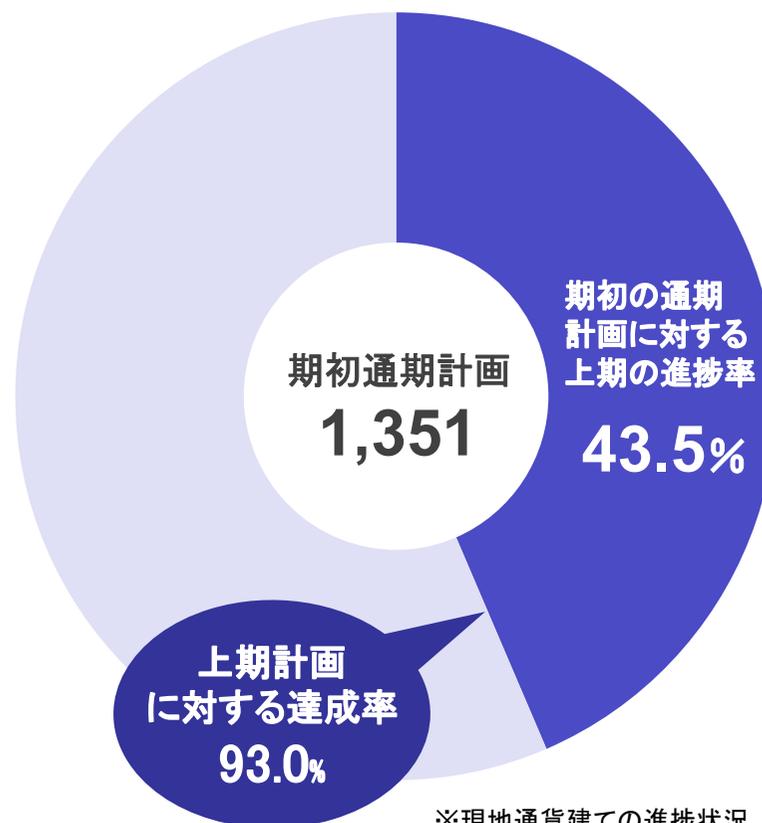


ベトナムドン	1VND=0.00484円	1VND=0.00559円	1VND=0.00499円
(VND)レート	1VND=0.00501円	1VND=0.00552円	1VND=0.00476円

※レート上段は上期レート、下段は通期レート

進捗状況

(単位:10億VND)



※現地通貨建ての進捗状況
※ベトナムグループは12月決算



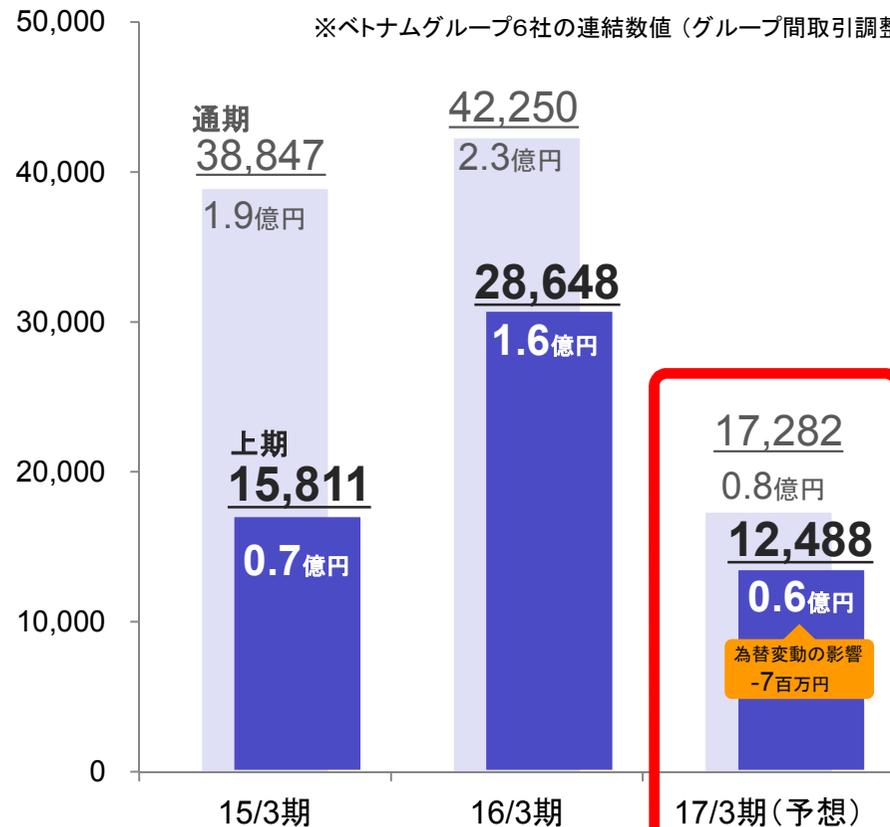
ベトナムグループの業績推移(営業利益)

今期は減益となる見込み

営業利益

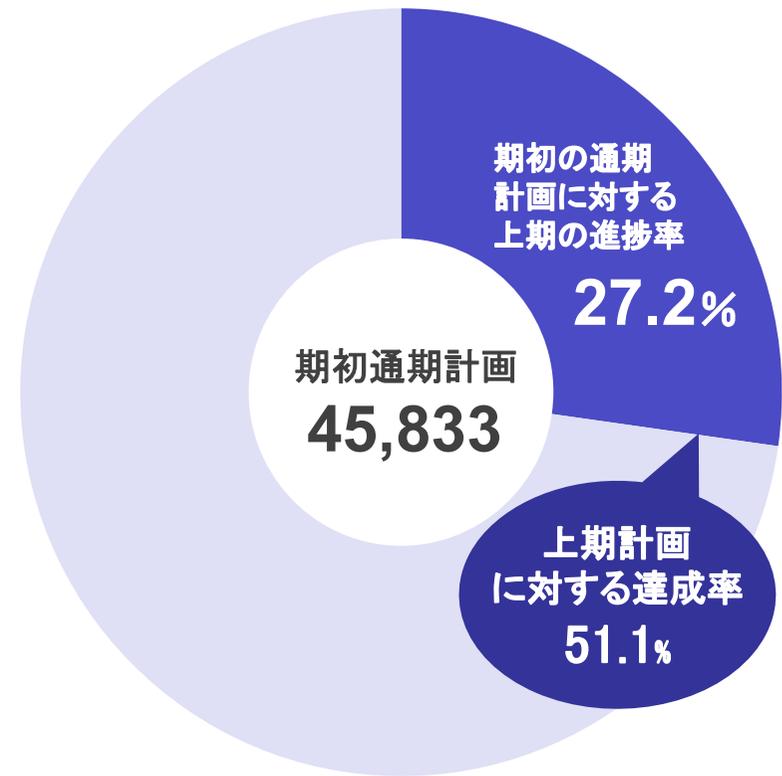
(単位:百万VND)

※ベトナムグループ6社の連結数値(グループ間取引調整後)



進捗状況

(単位:百万VND)



ベトナムドン	1VND=0.00484円	1VND=0.00559円	1VND=0.00499円
(VND)レート	1VND=0.00501円	1VND=0.00552円	1VND=0.00476円

※レート上段は上期レート、下段は通期レート

※現地通貨建てでの進捗状況
※ベトナムグループは12月決算



ベトナムグループの重点施策

ベトナムで強固な事業基盤を構築



(統括会社) LOGITEM VIETNAM HOLDING & INVESTMENT

- ・ベトナムグループ各社に対する経営指導の強化と効果的な経営資源の投下
- ・ベトナムを中心としたインドシナ半島における事業戦略の展開

旅客運送

LOGITEM VIETNAM NO.1

766名
586台

- ・旅客運送事業の持続的な成長
- ・人材の確保と育成による高品質なサービスの提供
- ・ロジテムミャンマーに対するノウハウの水平展開



物 流

LOGITEM VIETNAM NO.2 LOGITEM VIETNAM CORP. CLK COLD STORAGE※持分法適用関連会社

1,365名
590台
176千㎡

- ・食品物流サービスの更なる拡充
- ・付加価値の高い輸送サービスの構築
- ・現地従業員の業務レベルの向上による物流品質の向上



卸売・小売

LOGITEM VIETNAM TRADING L&K TRADING

117名

- ・商流と物流が連携した営業活動の推進
- ・卸売・小売事業の拡大
- ・ベトナム各社、ロジテムインターナショナルとの連携強化



※数値は17/3期2Q時点の各事業における従業員数(名)、車両台数(台)、倉庫面積(㎡)



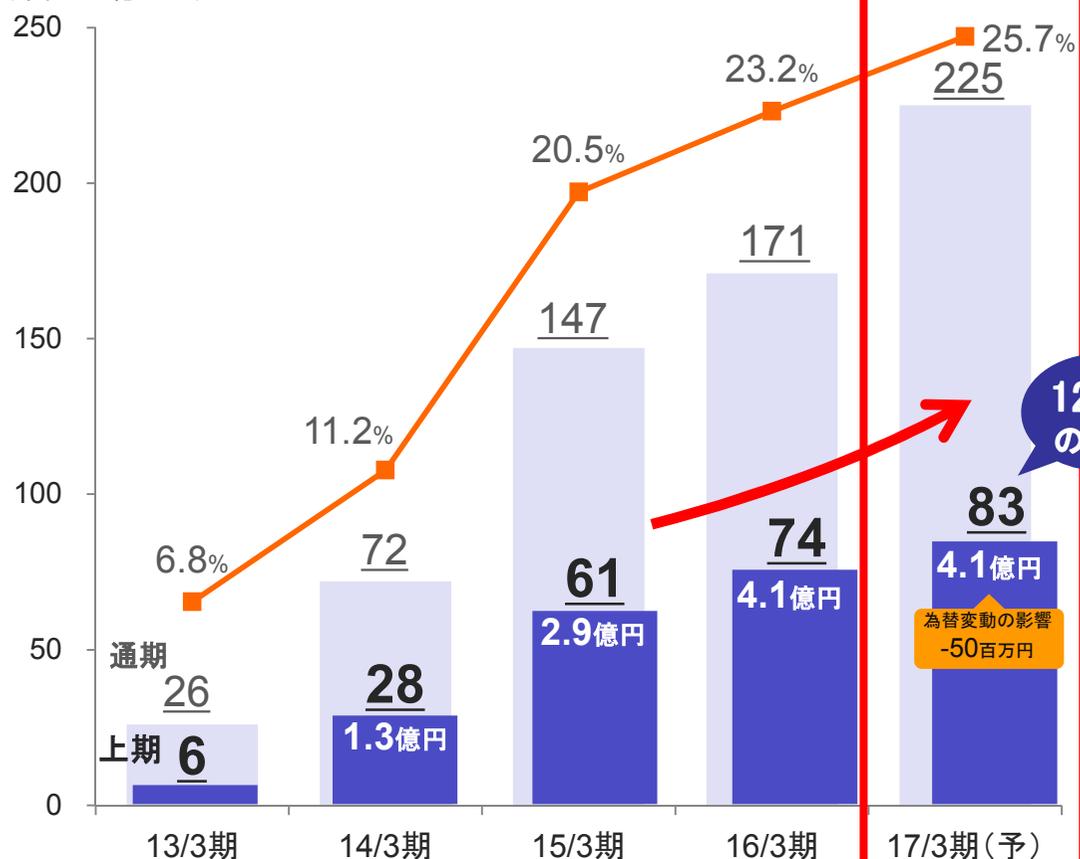
ベトナム、食品物流の取り扱いが拡大

上期は現地通貨ベースで12.3%の増収

営業収益(食品物流)

※LOGITEM VIETNAM CORPとLOGITEM VIETNAM NO.2の売上(単純合算)に占める食品関連の売上高とその割合

(単位:10億VND)



業務内容(食品物流)

- ・配送センター内での入出庫・保管・在庫管理
- ・各配送センターから店舗までのトラック輸送
- ・各セールスデポの営業用車両リース業務



- ・工場の構内作業24時間体制、配送





ベトナム、冷凍冷蔵倉庫事業を開始

冷凍冷蔵品に対応した物流サービスを提供



倉庫概要

面積	土地面積 19,000㎡ 延床面積 7,000㎡
構造	平屋建 庫内13区画
温度帯	超低温 -50℃ 冷凍 -25℃~-18℃ チルド -5℃~+5℃ 低温 0℃~+15℃ 定温 +5℃~+25℃
設備等	ドックシェルター17基、ドックレベラー4基、非常用発電機、防熱対策設備、陽圧空調設備、24H警備体制、防虫防鼠対策等

CLK COLD STORAGE COMPANY LIMITED

所在地	ベトナム国ビンズン省
資本金	15百万USDドル
設立	2015年4月
事業開始	2016年7月
出資比率	日本ロジテム(株) 26% 川崎汽船(株)25% (株)海外需要開拓支援機構49%



タイ、バンナーの拠点が順調に稼働

既存得意先の拡大と拠点集約による効率化を図る



バンナーロジスティクスセンター	
所在地	バンナー地区 (サムットプラカーン県)
延床面積	3,229坪
取扱品目	食品、化成品など
稼働開始	2015年10月



バンナーロジスティクスセンター

LOGITEM (THAILAND) CO.,LTD.	
所在地	バンコク市
資本金	10,000千BAHT
設立	1992年11月
従業員数	367名
倉庫面積	6,924坪
トラック台数	51台

※17/3期2Q時点



ラオス、新倉庫が完成し規模が拡大

保管能力の増加と安定した国際陸上輸送の取り扱い



ラオス新倉庫

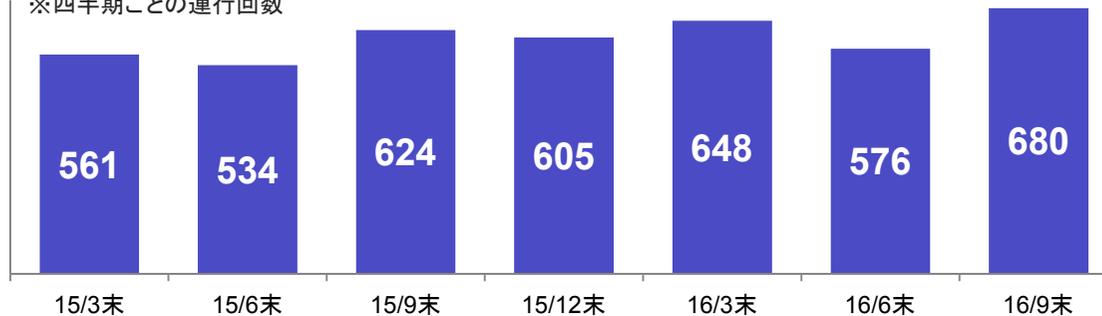
延床面積	約900坪
稼働開始	2016年6月



運行回数(ラオス・タイ間)

※四半期ごとの運行回数

(単位: 運行回数)



LOGITEM LAOS GLKP CO.,LTD.

所在地	サバナケット県
資本金	700千USDドル
営業開始	2007年10月
従業員数	10名
倉庫面積	1,724坪

保管能力が約2倍に拡大

※17/3期2Q時点



カンボジアに新会社を設立

営業開始に向けた手続きを開始



ロジテムカンボジア本社

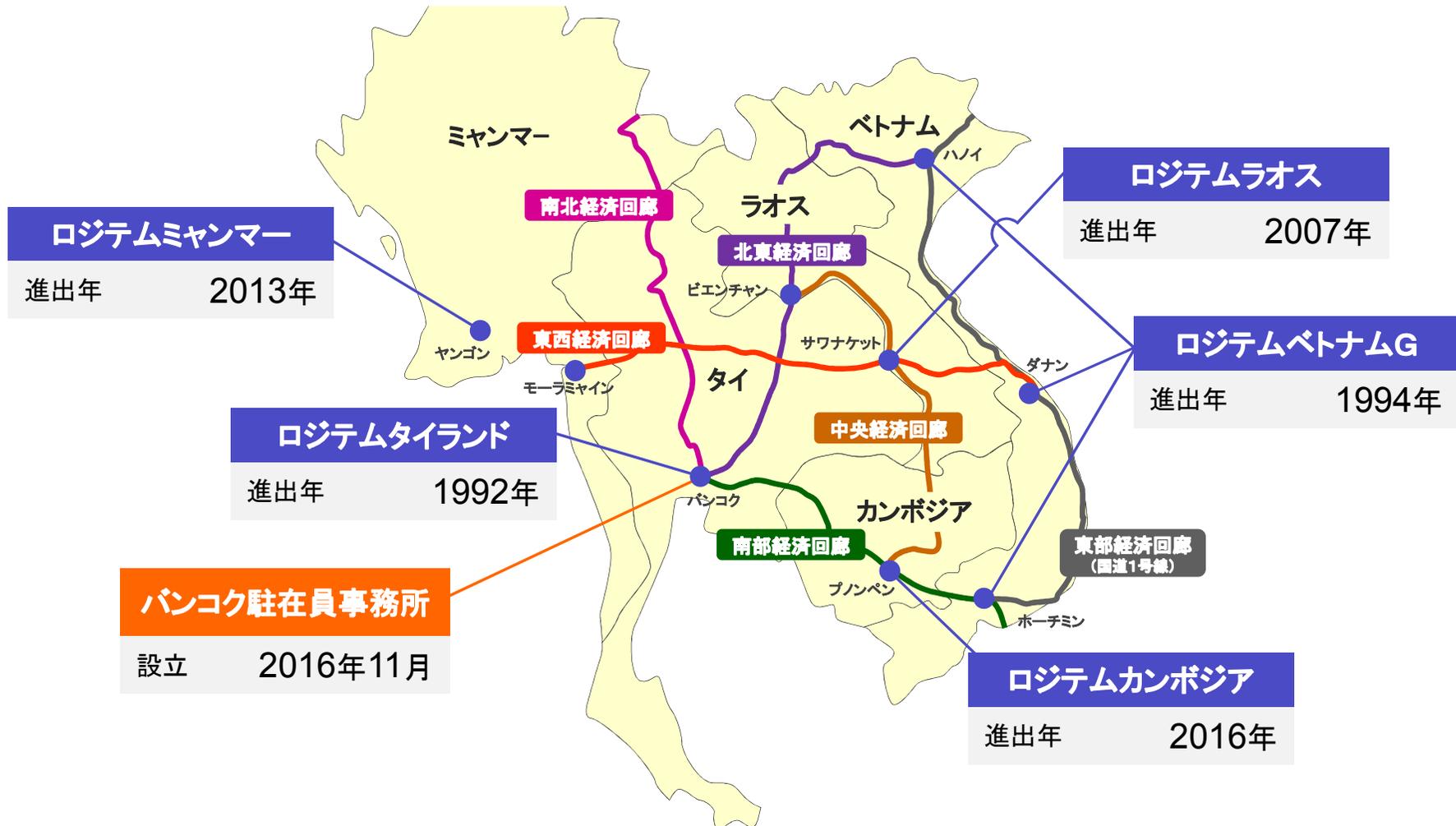
LOGITEM (CAMBODIA) CO., LTD.

所在地	プノンペン市
資本金	50万USドル
設立	2016年6月
営業開始	2016年11月(予定)
事業内容	貨物自動車運送、倉庫保管、通関、旅客自動車運送ほか
出資比率	日本ロジテム(株) 100%



国際陸上輸送網を拡充

域内物流需要の増加を見据え、多国間の陸上輸送網を構築





資本政策について(配当)

基本方針

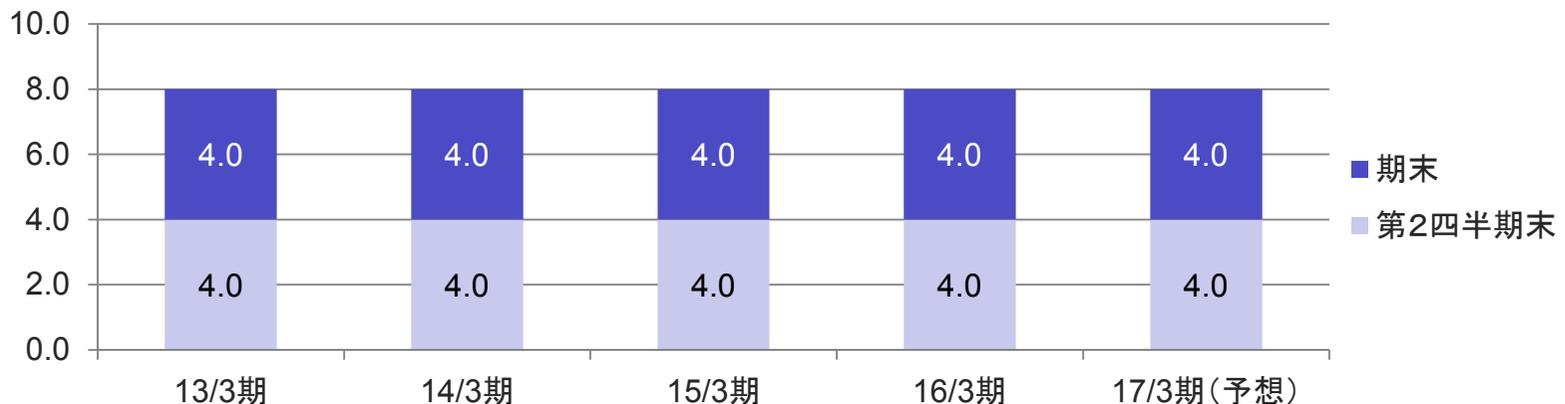
安定配当の継続

株主の皆様に対する安定した配当の継続を経営の最重要課題の一つとして位置付けており、業績の進展状況や配当性向等を勘案し、利益配分に積極的に取り組んでいく方針です。

<1株あたり年間配当額>

	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期(予想)
第2四半期末	4.0円	4.0円	4.0円	4.0円	4.0円
期末	4.0円	4.0円	4.0円	4.0円	4.0円
年間	8.0円	8.0円	8.0円	8.0円	8.0円
配当性向(連結)	53.1%	137.5%	—	241.2%	—

(単位:円)





日本一信頼される企業グループを目指す

保管、荷役、流通加工、情報システム、3PLへと進化するロジスティクス業界





【参考資料】 設備投資の状況

2016年3月期(実績)

[有形固定資産]

	取得額	概要
日本ロジテム	7億6百万円	太陽光発電システム導入 事業用車両購入 新倉庫への設備購入など
国内連結子会社	1億23百万円	
海外連結子会社	11億28百万円	
合計	19億58百万円	※ベトナムへの設備投資額(9億4百万円)

2017年3月期(予定)

	取得額	概要
日本ロジテム	2億40百万円	事業用車両、運搬具購入など ※ベトナムへの設備投資額(6億27百万円)
国内連結子会社	3億83百万円	
海外連結子会社	9億12百万円	
合計	15億37百万円	



【参考資料】当社グループの概要①

ロジテムグループの事業

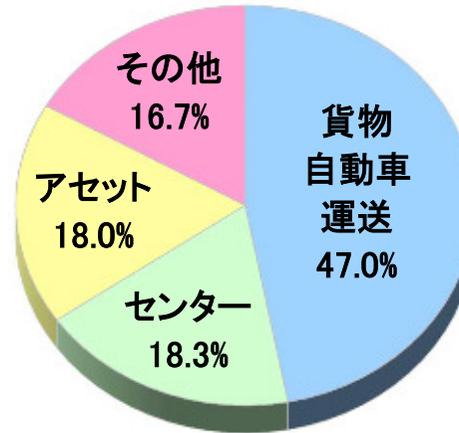
事業の種類別セグメント

貨物自動車運送事業
トラックなどを使用して貨物を運送する事業

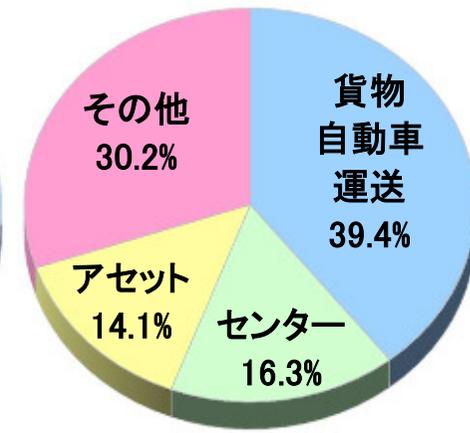
センター事業
貨物の入出庫などの荷役、流通加工、事務代行を行う事業

アセット事業
貨物の保管、不動産賃貸借および仲介を行う事業

その他事業
引越事業、施工関連事業、輸出入通関事業、旅客自動車運送事業などの物流周辺事業



連結売上高

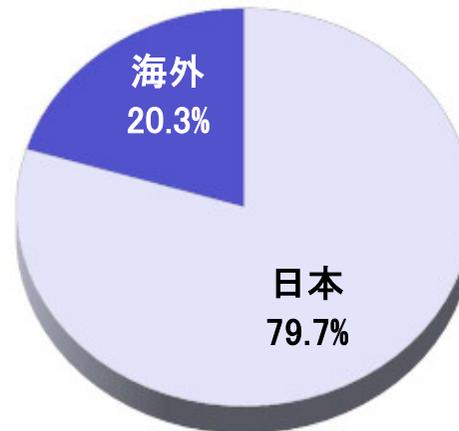


セグメント利益

所在地別セグメント

日本

海外
ベトナム、中国、台湾、タイ、ラオス、ミャンマー



連結売上高

(16年3月期データ)

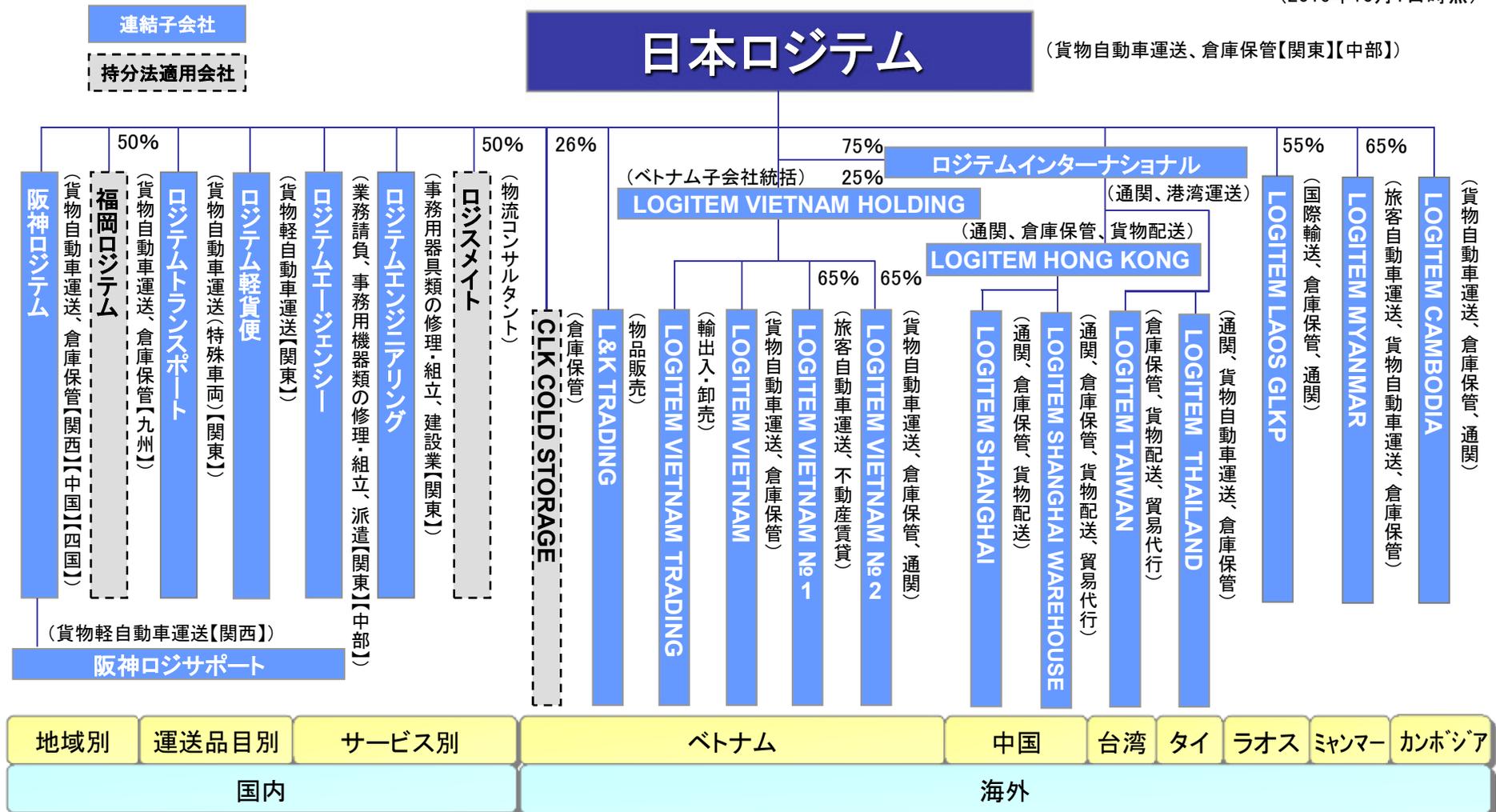


【参考資料】 当社グループの概要②

ロジテムグループ

地域・事業体別に国内・海外に24社のグループ会社

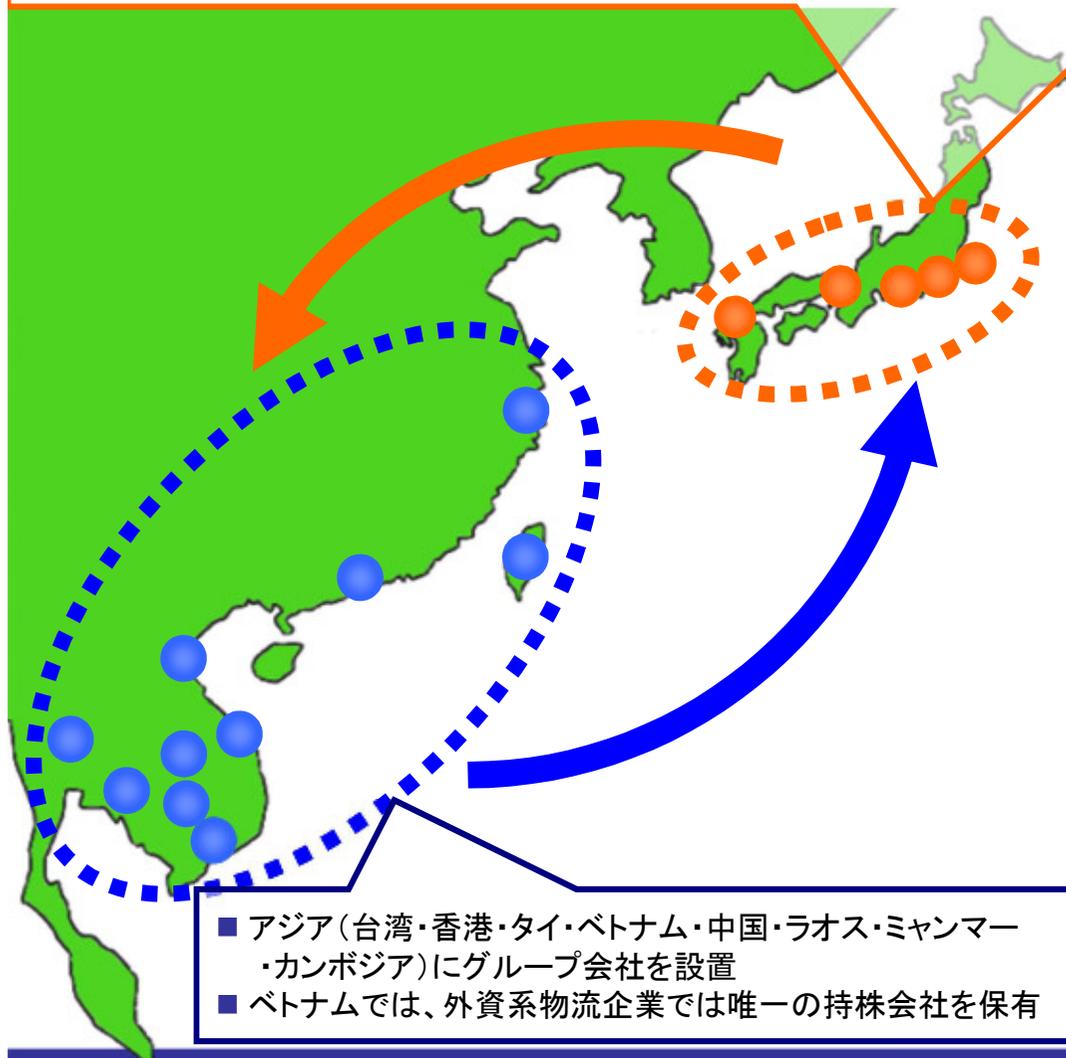
(2016年10月1日時点)





【参考資料】 当社グループの事業展開

- 首都圏を中心に展開、中部・関西・中国・四国・九州にグループ会社の拠点を設置
- 食品・インテリア・エレクトロニクス・アパレルなど幅広い取扱品目の物流ノウハウを蓄積



- アジア(台湾・香港・タイ・ベトナム・中国・ラオス・ミャンマー・カンボジア)にグループ会社を設置
- ベトナムでは、外資系物流企業では唯一の持株会社を保有

国内(10社)

東京	日本ロジテム株式会社 ロジテムエージェンシー株式会社 ロジテムインターナショナル株式会社 ロジテムエンジニアリング株式会社 株式会社ロジテム軽貨便 ロジスメイト株式会社※
千葉	ロジテムトランスポート株式会社
兵庫	阪神ロジテム株式会社 阪神ロジサポート株式会社
福岡	福岡ロジテム株式会社※

海外(15社)

台湾	LOGITEM TAIWAN CO.,LTD.
香港	LOGITEM HONG KONG CO.,LTD.
タイ	LOGITEM(THAILAND)CO.,LTD.
ベトナム	LOGITEM VIETNAM HOLDING & INVESTMENT COMPANY LIMITED LOGITEM VIETNAM CORP. LOGITEM VIETNAM CORP.NO.1 LOGITEM VIETNAM CORP.NO.2 L&K TRADING CO.,LTD. LOGITEM VIETNAM TRADING CO.,LTD. CLK COLD STORAGE COMPANY LIMITED※
中国	LOGITEM SHANGHAI CORP. LOGITEM SHANGHAI WAREHOUSE CORP.
ラオス	LOGITEM LAOS GLKP CO.,LTD.
ミャンマー	LOGITEM MYANMAR CO.,LTD.
カンボジア	LOGITEM(CAMBODIA)CO.,LTD.

※持分法適用会社

(2016年10月1日時点)



- 本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。
- 当社の内部要因や、当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おき願います。



IRに関するお問合せ先

日本ロジテム株式会社 総合企画部 総合企画課

東京都港区新橋5-11-3

TEL: 03-3433-6711

物流センター・物流アウトソーシングなら

物流相談.com

<http://www.b-soudan.com>